



墨東の学び

安心・安全な学校であるための取組を情報提供していきます

学校では、この間、生活指導部・保健部を中心に、「安心・安全な学校」であるために全校で取組を進めています。

このことにつきまして、11月中旬をめぐりに「防災の橋～安心・安全な学校に向けて～」を全校保護者宛に配布できるよう準備を進めています。

S 全校集会で墨東祭スローガン発表 & 写生会表彰！

10月24日(木)朝、本校に通学する全墨東生が体育館に結集しての全校集会が開催されました。前半は12月に開催する墨東祭の新スローガンを生徒会役員が発表しました。練りに練ったスローガンは、

「仲間と一緒に 絆を深め 輝こう 墨東祭！」です。

チーム墨東で墨東祭にむけて準備を進めていきます。

後半は、5月に行われた深川消防署主催の「はたらく消防の写生会」の表彰状が学校に届きましたので、校長から以下の受賞児童に表彰状をお渡しし、皆で讃えました。(8月下旬に消防署で予定されていた表彰式は台風禍で中止となっていましたので、待ちに待った贈呈式となりました。)

はたらく消防の写生会作品が優秀賞を受賞した2名の児童に都消防庁消防総監から表彰状が贈呈されました。

小1 Aさん

小6 Bさん

はたらく消防の写生会作品が入選された4名の児童に、深川消防署長からの表彰状が贈呈されました。

小2 Cさん

小3 Dさん

小5 Eさん

小6 Fさん

B 全国院内学級会が展覧会で病訪生が初入賞の快挙！

岡山県にある川崎医科大学・川崎医療福祉大学主催、岡山県教委等が後援する伝統の全国院内学級絵画展覧会第26回大会での本校初入賞の快挙は、つばさ病院訪問学級小学4年生でした。この美術展は入院中の子供たちが、気兼ねなくエントリーや鑑賞できるように、ウェブ上で入選作品を展示し、作者名もペンネームOKとなっています。

⇒ぜひ、[全国院内学級絵画展覧会](#)検索を！

S 江東区主催「医ケアが必要なお子さんと家族の交流会」

10/27(日)開催、本校の体育館を会場提供しました！

この会は江東区福祉部障害者支援課による初企画とのことです。墨東生の御家族多数が対象となる会ですので、駐車ができ、トイレが使いやすい本校を会場提供いたしました。当日は墨東生の御家族も来校し、エアドーム型プラネタリウムや大道芸人のパフォーマンス、御家族同士の懇談会などのプログラムに笑顔で参加されていました。また、江東区長大久保朋果様も途中で来校され、初企画の様子を御覧になられていました。

B 教科担当の教員が交流校の毛利小で指導方法研鑽！

Bつばさ病院訪問学級・いるか分教室の教員が10月24日、S小学部交流校である江東区立毛利小学校に伺って授業力を磨きました。病院内での教科指導の多くは、ベッドサイドや小教室での1対1指導がほとんどです。一方で小学校での教科指導は20～40人の集団指導です。多様な意見や見方・考え方、興味・関心を内包する集団を授業の達成目標に向けて、話し合いや意見表明を組み合わせながら、束ねていく指導力が不可欠です。病院内で学ぶ墨東生も、回復後はこうした集団教育の場に戻っていきます。復帰に向けての学習面の準備、心理面からの準備もB部門の指導では欠かせません。また、毛利小には、指導に熟練された教員陣が活躍されています。指導方法のレパートリーを増やす観点や言葉掛け、板書、発問、プリント作り等の多くの指導上のヒントが得られる全学年の授業を自由に見学できる機会と授業参観後の副校長先生からの助言タイムが大きな収穫でした。次回はS部門で準ずる課程の教科指導を担う教員の研鑽機会も設けます。

S 教師養成塾生宮崎さん(大学4年)1年間実習修了！

大学推薦を受けて、都教育委員会主催の東京教師養成塾生となった宮崎さんは、大学3年の昨年11月から基本形の週1日実習と2週間の集中実習を組み合わせながら、1年間にわたり、本校小学部での指導体験を積み重ね、来たる教員採用に向けて努力されてきました。先日、都教職員研修センターでの教師養成塾生修了式では、塾生総代として壇上で感謝と決意を述べられていました。本校での経験を生かし、肢体不自由校で教員スタートをとの熱い思いも語ってくれました。

校長 田村康二郎